

## Courir の意味論

伊藤 達也 (名古屋外国語大学)

仏語の動詞 *courir* の観察を通じ (1) 語彙の多義性 (*polysémie*) , (2) 自動詞／他動詞の区別, (3) 周辺環境が語の意味に果たす役割という三つの問題を考える。普通 *courir* には「走る」という「意味」が関連づけられるが, *Il ne faut pas courir deux lièvres à la fois.* (一度に二匹の兎を追いかけるべきではない＝二兎を追う者は一兎をも得ず／虻蜂取らず) のような他動詞用法では「追跡する(*chercher*)」と代置すべき意味が現れる。しかし表面的に同様の他動詞用法 *courir un marathon* (マラソンを走る) では「走る」の意味が強くなる。関連語 *discourir* (演説する) , *parcourir* (走り回る) , *secourir* (救助する) にも内在する *courir* の多義を産み出す源と, その多義の要因をどのように把握するのが適切かを考える。周辺環境との組み合わせとしてはとりわけ *courir après* (例: *courir après la gloire*) を考察する。